



## 6月10日、伊久美川鮎解禁！



漁業権の切り替えを終え新しい10年が始まった今年、昨年より11日早く伊久美川が解禁を迎えました。

伊久美川では近年、解禁直前の出水により不漁が続きましたが、今年は成魚放流後も大きな出水がなく、60名ほどの釣り人が竿を出し、賑やかな解禁日となりました。

当日は、水量が少なく石アカの状態も良くないようでしたが、魚影は全体に濃く、やまゆり付近では午前中に32尾(14cm~18cm)を釣り上げた人もいました。水温が上がる午後からさらに釣果を伸ばした釣り人もいたようです。

6月1日に解禁した大井川本流(丹原~河口)は、適度な水位の変化がなく水温も低いため、河床の状態が悪く、鮎の生育が遅れ気味です。

ただし遡上については、河口採捕から見るとやや遅れが見られましたが、本格化した4月以降は雨の影響のない安定した状態を保ち、順調です。今後本流の状態が好転すれば、数十年来の好漁だった昨年さながらに、最盛期に大型鮎と渡り合えるようなシーズンになるかもしれません。

### 2014年 鮎放流 合計 2,000kg (予定)

月日	種別 (平均重量)	数量	場所
4/10他	河口産 (4g)	300kg	伊久美川 (犬間~川口)
4/17	人工ふ化 (9g)	300kg	本流 (鍋島、鶉網、北中前)
4/24	人工ふ化 (9g)	300kg	本流 (鍋島、鶉網、北中前)
5/15	人工ふ化 (10g)	300kg	本流 (神座、渡口、北中前)
5/21	人工ふ化 (10g)	200kg	本流 (鍋島、神座、北中前)
		50kg	大代川 3か所
		50kg	伊久美川 3か所
5/28	人工ふ化 (30g)	300kg	伊久美川 20か所 (中平~川口)
6月~	予備	200kg	未定 (河川状況で場所を選定)



北中前の放流 (人工ふ化)



5/28 バケツで運んだ成魚放流 (伊久美川)

現在までに本流 1,100kg、伊久美川 650kg、大代川 50kg、計 1,800kg (約 21万尾) を放流しました。



## — 第3回 釣り教室 —

解禁後初の週末となった6月15日(日)、やまゆり(伊久美川)を会場に初心者向けの釣り教室を開催しました。

今回は愛知県から訪れたご夫婦や磐田市から仲間で参加した20代の男性が友釣りに加わり、雑魚釣りの参加者・指導員を含め50名ほどが川に入りました。

『竿なし、道具なし、知識なし』で参加できるこの教室。「友釣りは敷居が高くて挑戦するチャンスがないのでいいきっかけにしたい。」という参加者もいました。

当日は解禁日よりさらに水位が低く、指導員から「今日釣らせるのは腕があっても難しい」との声も続出しましたが、熱心な指導の甲斐あり2時間で2尾の鮎を釣り上げた参加者もいました。

また、雑魚のえさ釣りも大好評で終わり、たくさんのカワムツや捕まえた生き物を持ち帰る子供たちの満面の笑顔があふれていました。



鮎の友釣り教室



↑愛知県のご夫婦は2尾ずつの釣果(杉本指導員)



雑魚のえさ釣り教室



みんなで袋いっぱい釣ったよ～



カエルも捕まえたよ!

## 地区・関係会社対抗大会

近年、各地区では組合員の高齢化などにより選手選出に苦慮しています。釣り大会などを通じた組合員同士の交流は、今後の釣り振興にも繋がっていきます。総代や担当組合員に地区大会候補者がいる場合は、ぜひ地区長までお知らせください。

<開催日> 7月19日(土)

<会場> 大井川本流または伊久美川(予定)

各地区・会社1チーム5名の団体および個人戦(総重量)



昨年の地区大会  
残流(福用)



## がんばります！県大会

6月29日（日）、気田川で開催される第61回静岡県鮎友釣り競技選手権大会の出場選手が決まりました。

県大会の出場選手は、過去の釣り大会の成績等を考慮し、組合代表として組合員の中から選出します。

なお、本年5月の役員会において承認された出場選手の選考基準は次のとおりです。

- ① 各釣り大会（県、地区、一般大会）の上位入賞者を来年度の選考対象とする。
- ② 他漁協の代表として県大会に出場する選手は選考対象としない。
- ③ 資質・可能性等を考慮し、公平感をもって選考する。

### 出場選手5名（地区名）※敬称略

鈴木伊佐夫（川根）、齋藤喜芳（島田）  
塚本俊之（島田）、白幡光明（金谷）  
津島和夫（大井川）、西條信二（補欠）  
ご健闘を心よりお祈りいたします。

## 役員改選が行われました

3月23日の通常総代会をもって3年任期が満了し、組合役員が新体制となりました。

### <退任役員>

鈴木省三（金谷）、西澤宏（伊久美川）  
市川勇治（島田）、澤本延也（島田）

### <新任役員>

山田司郎（金谷）、石神文雄（伊久美川）  
酒井伸八（島田）、天野秀雄（島田）



（前列）退任役員の  
鈴木さん、市川さん、澤本さん、西澤さん  
永い間、ありがとうございました。

## 機関紙「ぜんない」第31号から

### 第1回 内水面漁協

増養殖研究所 内水面研究部  
生態系保全グループ長  
中村智幸さんの記事より

全国内水面漁連が発行する機関誌  
「ぜんない」の一部をピックアップ  
してご紹介します。

### ◇内水面漁協の運営や経営の研究を始めた理由(わけ)

およそ3年前の2011年（平成23年）の4月から、私は内水面漁協の運営や経営の研究に取り組んでいます。生物学者の私が、なぜ漁協の研究という社会的な研究を始めたのでしょうか？その理由は次のとおりです。

多くの国では、国や州、県などが内水面（川や湖）の水産資源や漁場を管理しています。それに対して日本では、漁業協同組合がその仕事を行っています。しかし、現在、内水面漁協の多くは、組合員の減少や高齢化のために活性が落ちています。そこで、漁協に元気になっていただくために研究を始めました。

残念なことに、「漁協なんていらぬ」という声を時々聞きます。しかし、私はそうは思いません。

なぜならば、漁協があったからこそ、魚や川、湖が守られてきたからです。

国民の多くが「川や湖に魚がたくさんいて欲しい。川や湖はきれいであって欲しい。」と願っています。しかし、一般の人々は日々の生活で忙しくて、そのための行動ができません。それに対して漁協は、日々、川や湖に向き合っています。

漁協が地元の人々の代弁者になってきたから、川や湖が良い状態で残っているのです。

漁協が解散すると、それまで「漁業権漁場」であった川や湖は「自由漁場」になります。自由漁場の管理を行うのは都道府県です。しかし、都道府県の水産関係の職員は、数が少なく、川や湖に頻繁に行くことができません。そうすると、自由漁

場は毒や電気で魚を捕ったり、禁漁期や体長制限などを守らない不逞の輩（ふていのやから）が跋扈（ばっこ）する「無法地帯」になってしまいます。内水面の秩序ある資源管理、漁場管理のために漁協はなくてはならないのです。

しかし、漁協にも変わってもらわなければならないことがあります。それは、「自分たち（組合員）だけ良ければいい」という考え方からの脱却です。多くの漁協で、収入のかなりの部分を遊漁料が占めています。遊漁料は釣り人が納めたお金です。お金を多く納めた人たちの意見や要望も聞かなくてはなりません。それが世の中の常識です。

次回から研究の成果をご紹介します。楽しみに待っていてください。





## 組合からのお知らせ

投網・追いだもの解禁日に  
ご注意ください。

**当組合管理区域 9月1日解禁**

**島田市丹原から上流 9月15日解禁**  
(家山川、笹間川も9月15日解禁です)

追いだも (6,000 円)・投網 (25,000 円) を希望する組合員がいる場合は **8月15日**までに地区長へ申し出てください。

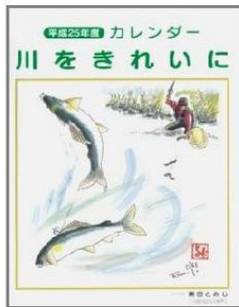
当組合分の統数は各 30 統と漁業権で定められています。申込状況によってはご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

## 伊久美川の標示を新しくしました。



川口発電所付近の禁漁区と、解禁日を変更した伊久美川の案内標示が新しくなりました。伊久美川は網漁禁止区域用と 2 種類設置しました。

## 2015年 漁協カレンダー



イラストは 2013 年のものです。

カレンダー (県内河川釣り場・風景の写真)好評のため、来年分を有料でご用意します。

ご希望の方は **8月末日**までに組合へ部数をお申し出ください。

**A2判 (7枚綴り) 1本400円**

表紙は黒田とみじさんの鮎のイラストです。



## 主な業務 (H25.12月~H26.5月)

- 12/19 第5回理事会
- 26 漁業権免許の交付
- 29 冬季休業 (~1/4)
- 1/4 仕事始め
- 27 監事会 (25年度下期、決算監査)
- " 企画運営部会 ・平成26年度事業計画ほか
- 2/3 役員推薦会議
- 5 組合員資格審査委員会
- 6 河口産稚鮎需給調整会議 (天竜川漁協)
- 19 第1回役員会 ・総代会提出議案の審議外
- 3/1 あまご解禁
- " 内水面中部地区連絡協議会 (静岡市)
- 23 通常総代会 (プラザおおるり)
- 25 第59回県内水面漁連通常総会
- 27 第2回役員会 代表理事選任ほか
- 31 焼津水産高校に河口産稚鮎あゆ30kg配給
- 4/10 第1回放流 (伊久美川、河口産120kg)
- 12 伊久美川魚道土砂排除
- 14 カワウモニタリング調査 (3地点6名、4/24)
- " 県内一斉カワウ追い払い (~4/23、10日間)
- 16 大井川河川敷地利用協議会 (国交省)
- 17 新大井川漁協へ配給開始
- " 伊久美川カワウ対策 (テープ張り)
- " 有害駆除開始 (4/20~5/31)
- 18 大井川漁場管理運営協議会 ・エサ釣り漁場
- 19 河口産稚鮎採捕終了 (530kg)
- 23 企画運営部会 ・釣り大会ほか
- 5/2 国交省静岡河川事務所より工事説明
- 14 組合員資格審査委員会 (新加入者の審査)
- 15 市内小中学校へ釣り教室の案内
- 16、17 漁場標示旗設置 (鍋島~JR鉄橋)
- 19 大井川砂利対策協議会へ出席 (島田土木)
- 20 第3回役員会 ・資格審査、釣り大会ほか
- 21 玉石還元作業 (高熊)
- 26 関係会社へ挨拶回り、警察署に取締協力依頼
- 27 伊久美川へ看板設置
- 29 監視員事前研修
- 6/1 大井川本流鮎解禁、役員監視開始
- 5 県大会選手打合せ
- 10 伊久美川鮎解禁
- 15 第3回釣り教室
- 25 うなぎ放流30kg (約1,000尾)
- 29 県あゆ友釣り競技選手権大会 (気田川)



## 編集後記

今号を担当させていただいた松浦です。  
わたしの漁協勤務も丸5年が経ちましたが、異常気象や大雨で地元伊久美川の「解禁祭り」はどんどん寂れ、「松浦が入ってから、年々伊久美川が悪くなっている」とささやかれ始める始末です。(もちろん冗談ですヨ。)  
でも今年は…! 川にお客さんが来てくれるっていいですね。

『漁協通信』は、総代さん・組合員の知りたい情報、知らなかった情報を届け、組合との「架け橋」にと小林副組合長が創刊されました。今後のより良い紙面づくりのためにも、ご要望等ぜひ組合までお届けください。(松浦)